

総合リハビリテーションセンター

♪看護方針「見守る・待つ・ともに考える」は教育でも大切にしています♪

当センターでは、新人教育支援として所属病棟では習得できない看護技術を学ぶことを目的に他病棟へのローテーション研修や他部門への研修（異部門研修）を行っています。

リハビリテーションは、患者さんのゴールを目指し多くの職種が協力・協働しなければなりません。そのためには、コミュニケーションを図りお互いの業務等をよく理解しておくことが重要です。

今回はローテーション研修を終えたばかりの先輩看護師に感想を聞いてみました。

【ローテーション研修を終えて】

私は入院・手術等がある一般病棟に配属になりました。今回、回復期病棟に一月間研修に行きました。入職してやっと病棟にも業務にも慣れてきたところだったので知らない病棟に行くのは不安でしたが、ペアナーシングで患者さんを担当していることや新人支援担当の先輩看護師がいてくれたので不安はなくなりました。

自部署で習得した看護技術を活かせる場面や自立できていなかった技術ができるようになったり、これまで経験できなかった入浴介助を経験することができました。在院日数の短い自部署と違い、入院期間が3か月以上の患者さんが多く、ADL自立に向けた援助や退院支援について学ぶことができました。

国家試験まであと少しですが体調を崩さずに頑張ってください。

【第一病棟勤務 1年目】

【研修紹介】

当センターに入院されている患者さんは、急性期での治療を終えて社会復帰・自立を目指し住み慣れた地域に戻るためのリハビリを行っています。

しかし時々ではありますが、脳卒中の再発やけいれんなどにより急変する方がいらっしゃいます。その時に慌てず、適切な対応ができるように全看護師を対象に毎年BLS（一次救命処置）研修を行っています。

呼吸・脈
意識確認



AED準備



今年も、11月13日から11月22日までの中で6日間実施しました。

研修は、主にBLSのスキルチェックを行っています。

急変している患者さんの発見から医師が到着するまでの時間、私たち看護師が人工心肺の代わりに“患者さんのバイタルサインを作り上げる”ことを目標に「どれだけ、胸骨圧迫の時間が確保できているか」を確認しています。

研修開始前 リラックスしています。



**グループに分かれて、
交代で行います。**



**AED装着
します！**



**ショックします。離れて
ください。**



BLS研修の様子を紹介しました。リハセンターは、看護師81名の小さな組織のため、一人ひとりの看護の力をとても大切にしています。私たちと一緒に患者さんのゴールを目指して頑張りましょう。